

比率の算出方法

- 1 出生, 死亡, 婚姻, 離婚率 = $\frac{\text{1年間の事件数}}{\text{10月1日人口}^{*1}} \times 1,000$
- 2 自然増加率 = $\frac{\text{1年間の出生数} - \text{1年間の死亡数}}{\text{10月1日人口}^{*1}} \times 1,000$
- 3 乳児, 新生児死亡率 = $\frac{\text{1年間の事件数}}{\text{1年間の出生数}} \times 1,000$
- 4 死因別死亡率 = $\frac{\text{1年間の当該死因による死亡数}}{\text{10月1日人口}^{*1}} \times 100,000$
- 5 死産率 = $\frac{\text{1年間の死産数}}{\text{1年間の出産数(出生数+死産数)}} \times 1,000$
- 6 低体重児出生率 = $\frac{\text{1年間の事件数}}{\text{1年間の出生数}} \times 1,000$
- 7 周産期死亡率 = $\frac{\text{1年間の事件数}}{\text{1年間の出産数(出生数+妊娠満22週以後の死産数)}} \times 1,000$
- 8 婚姻・離婚率 = $\frac{\text{1年間の事件数}}{\text{10月1日人口}^{*1}} \times 1,000$
- 9 合計特殊出生率 = $\frac{\text{母の年齢階級別出生数} \times 5}{\text{年齢階級別女子人口}^{*2}}$ (15歳から49歳までの合計)

使用した記号

- 1 計数のない場合 ー
- 2 数の不明の場合 …
- 3 統計項目のありえない場合 ・
- 4 数値が微小の場合 0.0

注意

数値は表示単位未満を四捨五入しているため、内訳の合計が総数に合わない場合がある。

*1 「10月1日人口」は、仙台市全体分については厚生労働省推計人口、各区分については、仙台市広聴統計課推計人口を用いている。(22頁「諸率の算出に用いた人口」参照)

*2 合計特殊出生率の「年齢階級別女子人口」は、10月1日現在の住民基本台帳人口(日本人人口)を用いている。